

Q. なぜこの学科を専攻したの?

A. 中学校で園芸部に所属し、植物を栽培することが楽しかったからです。中学の先生から桂高校を勧められ、畑や施設で花や野菜のより良い作り方を学びたいと思い、園芸ビジネス科を選びました。

園芸ビジネス科

Q. 楽しい授業は?

A. 実習で「振り売り」に行く時です。普段の実習で栽培管理してきた野菜や草花を、地域の方々に自分の手で販売するため、お客様の反応を目の前で見ることができ、やりがいを感じることができて楽しいです。

Q. 専門学科で自慢できることは?

A. 校内や校外で、様々な大会や資格取得の場があり、たくさんの経験をする事ができます。私は農業鑑定競技会という、農業の知識を問う競技の学校代表となり、全国大会に出場しました。

Q. 学校生活を一言で表現すると?

A. 社会勉強の先取りです。授業の中で、社会との関わり方を学ぶことができます。販売実習や地域と連携した研究活動を通して、専門学科の視点で様々な方々との交流をすることができるからです。

Q. 学校生活で楽しいと感じること

A. 研究活動の中で、学年や学科をこえて活動するので、他のクラスの様子や、自分とは違った考え方や価値観を知ることができるので、新しいことが発見できとても面白いです。

KATSURA

京都府立 桂高等学校 専門学科
京都市西京区川島松ノ木本町27
tel:075-391-2151 fax:075-391-2153



普通じゃない。だから面白い。

京都府立 桂高等学校 専門学科

植物クリエイト科・園芸ビジネス科

植クリ & 園ビ
しょくり えんび

在校生・卒業生
インタビュー!
学校での1日ってどんなの?

農業界で活躍する卒業生

Q 現在のお仕事は何をしている?

A 京都府立植物園で園内の樹木の栽培管理等を担当する樹木係に所属しています。中でもばら園をメインで担当しており、お客様にきれいなバラを楽しんでいただくため、日々花がら切り、水やりの作業やガイドツアーをしています。

Q 桂高校生活で印象深かったこと

A 3年生の時に出場した御堂筋の高校生フラワーデザインコンテストで最優秀賞を取ったことです。部活動は草花クラブと華道部に所属していたため、普段の練習活動や授業で学んだことを最大限に発揮できたことが嬉しかったです。

Q 後輩へのメッセージ

A 中学生の時は園芸と聞くと趣味のイメージが強かったですが、桂高校では園芸をビジネスとして活用できる授業や実習のカリキュラムが充実しています。卒業後の仕事に役立つ多くの資格を取得できるのも魅力の1つです。

2009年度 卒業

植物クリエイト科

Q. 専門学科で自慢できることは?

A. 普通科では学ぶことができない、生きるために必要なことがたくさん学べることです。

Q. 学校生活を一言で表現すると?

A. 「とにかく楽しい」です。好きな植物について学び、それを活用できるので、私にとって、とても楽しく充実しています。

Q. 学校生活で楽しいと感じること

A. 部活動に入れば普通科のお友達もできるし、実習中は作業をしながらたくさんの友達と仲良くなれるので、勉強以外でも多くのやりがいを持つことができます。

Q. 将来の目標(夢)は?

A. 小さい頃の夢は花屋さんでしたが、今は植物に関係した職業に就きたいと思っています。

Q. 楽しい授業は?

A. 農業と環境。実習で栽培している野菜を収穫したり、収穫した野菜の袋詰め作業が楽しいからです。

Q. 専門学科で自慢できることは?

A. 夏休みに、桂高校では学べない畜産の研修会に参加しました。牛とふれあい、審査会では入賞することができました。学校内の学習だけでなく、いろいろな経験をする事ができます。

園芸ビジネス科

Q. なぜこの学科を専攻したの?

A. 昔から品種改良で新しい品種を作りたいと思っていましたが、その時にバイオ技術を学べるだけでなく、多くの研究実績を残している桂高校植物クリエイト科を見つけ、ここだ!と思い志望しました。

Q. 将来の目標(夢)は?

A. 研究班の班長として同級生や後輩を引っ張っていく中で、いろんな事を教えることが楽しくなり、魅力的な先生と出会ったことで、将来は高校教員として生徒に親しまれる先生になろうと思います。

植物クリエイト科

Q. 専門学科で自慢できることは?

A. 普通科と授業が全然違うという事もあるのですが、全ての部活に入れたり、多くの資格を取ることができたりと、実績を残す機会が多くあるのが専門学科の強みです。また、朝の水やり当番などで、早起きが得意になれるかもしれません。

Q. 学校生活を一言で表現すると?

A. 進取果敢です。自分で考え自分から動くことが多いため、自主性が大切になります。私は中学生までは基本受け身でしたが、高校に入ってから自主性を身に付け能動的な自分になれたと思います。

Q. 学校生活で楽しいと感じること

A. 実習や課題研究が、普段の授業の上に成り立っています。授業で習ったことが研究や実習の中で繋がった瞬間や、逆に研究でわかったことが、別の研究に応用できた時がとてもスッキリして一番楽しいです。

Check

他のインタビュー
動画はこちらから



しょっくり 植クリ

3年生のとある

植物クリエイイト科の1日

1時限目

8:55-9:45

英語コミュニケーションII(必修)
基礎から応用まで、進路実現にも英語は必須です。
研究活動で、外国人との交流も増えてくるかも!?

2時限目

9:55-10:45

TAFS

学科の枠を超えて、自分の研究したいことを学びます。
両学科、2・3年合同で、同じ時間帯で授業が進みます。

3時限目

10:55-11:45

化学(選択)

農学関係に進学する人はほとんどの生徒が選択します。少し難しいですがみんな必死に勉強しています。

4時限目

11:55-12:45

資源工学・生産工学(専攻別)

1・2年生で学んだバイオテクノロジーの基礎と、京の伝統野菜を中心とした露地野菜栽培の基礎をもとに、実験・実習に活用できる応用的な知識を身に付けます。興味・関心に応じて2つの専攻に分かれます。

お昼休み

12:45-13:30

芝生で昼食

5時限目

13:45-14:35

フィールド科学実習(専攻別)

資源工学では、植物バイオテクノロジーの技術を利用し、植物組織培養による草花生産や、PCR法や電気泳動など応用的な実験を学びます。4時間目から3時間連続で実験を行う事もあります。

生産工学では、京の伝統野菜をはじめ、露地における野菜栽培の技術を学ぶとともに、京都で受け継がれてきた「種(しゅ)」の役割とその利用方法を学習します。

6時限目

14:45-15:35

STUDENT-LED!

ボクたち
ワタシたちの

専門学科の日々

in Kyoto prefectural KATSURA senior high school

REALITY!



えんぴ
園ビ

3年生のとある

園芸ビジネス科の1日

1時限目

8:55-9:45

論理国語(必修)

国語力は、表現力の基礎になります。
進路には、志望理由や小論文を書くためにとっても大事です。

2時限目

9:55-10:45

TAFS

学科の枠を超えて、自分の研究したいことを学びます。
両学科、2・3年合同で、同じ時間帯で授業が進みます。

3時限目

10:55-11:45

生物特講(選択)

生物の仕組みが理解できれば、よりよい植物を作ることができますよ。

4時限目

11:55-12:45

草花・野菜(専攻別)

1・2年生で草花・野菜の施設栽培の基礎を身に付け、興味関心に応じて2つの専攻に分かれます。3年ではさらに専門的な知識と栽培技術を勉強し、農場で実践していきます。知識はあっても実践ではなかなか上手にできないので、何度も繰り返して身に付けていきます。

お昼休み

12:45-13:30

楽しい昼食
(校内コンビニ利用)

5時限目

13:45-14:35

フローラルアート(必修)

フラワーアレンジメントの勉強です。
今日は花束づくりの基本となる「スパイラル」をフローリストの方に教えてもらいます。茎をらせん状に重ねていき、花をそろえてラウンド形状にします。初めての作業で手がすりそうになります。30年以上続く「園芸ビジネス科卒業制作展」で1年の成果を発表します。

6時限目

14:45-15:35

卒業制作

頭の中は?

普段どんなことを考えてる?
どんなことに気にかけてる?

明日の天気ってどうかな?

今日は水やり必要な?

今日の実習は何か楽しみ!!

振売り(販売実習)がいいな。

ACTIVE!

九条ネギの管理



昔から植物や虫が好きだった私たち。

時にはつらいこともあるけれど、

植物に触れ合い授業を受けていると、

自然と気持ちも落ち着く。

自分が作った花や野菜を、

お客さんに褒めてもらえる瞬間が何よりも幸せ。

そんな日々を一緒に過ごしませんか?

温室で野菜栽培



露地野菜



FUN!

フラワー
アレンジメント



FARM MAP

